

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

| | |
|-------|-----------------|
| 制作団体名 | ヴィガーK2 株式会社 |
| 公演団体名 | ロイヤルチェンバーオーケストラ |

| 内容 |
|---|
| <p>【オーケストラ公演をより楽しむために！】 親しみやすい金管楽器を中心にしたワークショップです。 生徒の音楽への興味を持っていただける内容としています。</p> <p>① オープニング ジョアキーノ・アントーニオ・ロッシーニ:「ウイリアムテル序曲」よりスイス軍の行進</p> <p>② ご挨拶・自己紹介 演奏者の自己紹介とともに、音の出る仕組みと楽器の紹介をします。</p> <p>トランペット編 ●ジェレマイア・クラーク：トランペットヴォランタリー</p> <p>ホルン編 ●アラン・メンケン：ミュージカル「美女と野獣」より</p> <p>トロンボーン編 ●ヘンリー・フィルモア：ラッサストロンボーン</p> <p>ピアノ編 ●フレデリック・ショパン：子犬のワルツまたは幻想即興曲</p> <p>③ 仕組みが分かったところで聴いてみよう！ スコット・ジョブリン：エンターティナー ディズニーメドレー</p> <p>④ 「校歌」を歌おう！ *本公演に向けて校歌の練習。</p> <p>⑤ 質問コーナー *生徒から奏者へ、なんでも質問コーナー</p> <p>⑥ 手拍子で共演してみよう！ 聖者の行進</p> <p>⑦ フィナーレ ジョン・フィリップ・スーザ：行進曲「ワシントンポスト」</p> |

| タイムスケジュール（標準） | |
|---------------|--------------------------------|
| 10:30 | 出演者入・セッティング |
| 11:00～12:30 | リハーサル |
| 13:15～14:45 | 公演（休憩 10 分有）*生徒の入退場を含め、概ね 2 コマ |
| 14:45～15:15 | 本公演へ向けての下見・打合せ |
| 15:15 | 退出 |

派遣者数

ホルン、トロンボーン、ピアノ（各 1 名）
トランペット（2 名）、事務局（1 名） 計 6 名

学校における事前指導

- ・ 一般的な鑑賞マナーなどの事前指導をお願いいたします。
- ・ 質問コーナーは事前に内容をまとめていただけますと幸いです。
- ・ ピアノを使用します。調律をお願いする場合があります。
- ・ 「校歌」演奏では、先生の指揮をお願いします。
- ・ 「聖者の行進」では、吹奏楽の方の共演が可能です。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

| | |
|-------|-----------------|
| 制作団体名 | ヴィガーK2 株式会社 |
| 公演団体名 | ロイヤルチェンバーオーケストラ |

| 演目 |
|--|
| クラシック 名曲へのいざない ～オーケストラ大活躍！音と踊り、美の共演～ |
| 【1】 オーケストラからご挨拶 ～ヨハン・シュトラウスⅡ世：トリッチ・トラッチ・ポルカ～ |
| 【2】 オーケストラにはどんな楽器があるの？（楽器紹介） ～弦楽器・木管楽器・金管楽器～ |
| 【3】 選択 ①指揮者体験 ～これであなたもマエストロ！～ヨハネス・ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 ②合唱共演 ～作詞作曲・杉本竜一：「ELIEVE（ビリーヴ）」または 作詞：小嶋登/作曲：坂本浩美「旅立ちの日に」～ |
| 【4】 ソリストってなあに？ ～サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調作品28～ *ヴァイオリン：奥村愛 |
| 【5】 ワルツを知る ～ヨハン・シュトラウスⅡ世：皇帝円舞曲～ ＝休憩＝ |
| 【6】 オーケストラとともにバレエを知る、バレエってなあに？！ ーバレエの表現・マイムを知るー |
| 【7】 バレエとオーケストラの競演！ ～ピョートル・チャイコフスキー：「くるみ割り人形」より抜粋～ *バレエダンサー共演 振付：石井竜一 |
| 【8】 校歌をオーケストラ伴奏で歌おう！ |
| 【9】 なんでも質問コーナー |
| 【10】 みんなで手拍子！ ～ヨハン・シュトラウス1世：ラデツキ―行進曲～（手拍子参加） *吹奏楽の参加可能 |
| 公演時間（約90分） |

派遣者数

指揮者/御法川雄矢（1名） 進行・ヴァイオリン/奥村愛（1名）
管弦楽/ロイヤルチェンバーオーケストラ（50名） バレエ/井上バレエ団（4名）
振付/石井竜一（1名） オーケストラ舞台監督・舞台監督助手（2名）
舞台スタッフ（4名） ライブラリアン（1名） 制作（2名） バレエ団事務局（2名）
計 68名

タイムスケジュール（標準）

8:30～11:00 搬入・仕込
10:00 バレエ団入(フォーミングアップ)
10:30 出演者入
11:00～12:30 リハーサル
13:15～15:00 【公演】(休憩 10分有)
15:15～16:00 撤収・搬出

実施校への協力依頼人員

- ・本公演では事前に椅子(70脚)を体育館内にご準備ください。
- ・ピアノの設置 ・マイク及び拡声のご準備と事前調整をお願いします。
- ・生徒のスムーズな誘導(入退場)をお願いします。
- ・オーケストラ及びバレエ団の控室(楽屋)への誘導をお願いします。
* 一行が使用可能なお手洗いなどの掲示もご準備ください。
- ・控室:指揮者・オーケストラ男性・同女性・バレエ団男性・同女性の確保をお願いします。
* 控室の目隠しをお願いします。(ワークショップ時に確認をさせていただきます)
- ・季節により、暑さ、寒さ対策(大型扇風機、大型ストーブなど)をお願いします。
- ・雨天など天候不良の時に お手伝いをお願いする場合があります。
- ・状況により前日の夕方に搬入・仕込をお願いさせていただく場合があります。

演目解説

■ヨハン・シュトラウスⅡ世:トリッチ・トラッチ・ポルカ (3分)

* 心躍る楽しいオーケストラの曲でスタート。

オーストリアの作曲家でワルツ王と称されたヨハン・シュトラウス2世(1825-1899)が 1858 年に作曲した 2 拍子の明るく楽しい舞曲(ポルカ)。タイトルの「トラッチ」はドイツ語で「おしゃべり」という意味があり、トリッチと並べることで同じ言葉を繰り返す(韻を踏み)、一種の言葉遊びになっています。軽快で弾むような明るい楽曲で、運動会などでよく使われる曲なので、聴き覚えがあるのではないのでしょうか？

■楽器紹介 (10分)

* 各楽器セクションで特色、役割などを説明、演奏します。

コンサートマスターの役割や、弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器、ハープ、ピアノとそれぞれの楽器の特色、役割を説明し、各パートで演奏します。

■指揮者体験コーナー ～これであなたもマエストロ！～ (9分)

* 指揮者の役割を体験して、知る！生徒 2～3名の参加。

課題曲/ヨハネス・ブラームス:ハンガリー舞曲第5番

※合唱共演選択の場合～

作詞作曲・杉本竜一：「ELIEVE（ビリーヴ）」または

作詞・小嶋登/作曲・坂本浩美：「旅立ちの日に」

■カミーユ・サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ（9分）

* オーケストラにおけるソリストの役割とヴァイオリンの美しい音色を知る。

フランスの作曲家・カミーユ・サン＝サーンス(1835-1921)が名ヴァイオリニストで作曲家のサラサーテのために作曲したヴァイオリン独奏のための名曲です。オーケストラの短い「序奏」から同じロンド(輪舞曲)主題を何度も繰り返します。カプリチオーソ(capriccioso)はイタリア語のカプリッチョ(capriccio)が語源で「気まぐれ」という意味です。ヴァイオリンの技巧と美しい音色をご堪能できます。

■ヨハン・シュトラウスⅡ世:皇帝円舞曲（10分）

* オーケストラの演奏をじっくりと聴いていただきます。

シュトラウスⅡ世が64歳の時の作品で「美しく青きドナウ」「ウィーンの森の物語」と並び「三大ワルツ」ともいわれる有名かつ人気の作品です。曲は行進曲風の軽快な序奏に始まり、美しいチェロのソロを経て優雅なワルツへと移行していきます。華やかで優雅な旋律の中にも堂々として壮大な雰囲気をおよぼす魅力的な作品です。華やかで優雅な旋律の中にも堂々として壮大な雰囲気をおよぼす魅力的な作品です。

■バレエってなあに?! バレエ解説（5分）

* バレエの基本、言葉のない表現を知り、くるみ割り人形がより深く理解できるよう解説します。

■ピョートル・チャイコフスキー:「くるみ割り人形」作品71より抜粋（20分）

* 3大バレエの中から「くるみ割り人形」をオーケストラとダンサーで共演。

チャイコフスキー(1840-1893)が作曲した「くるみ割り人形」「白鳥の湖」「眠れる森の美女」は三大バレエ作品と呼ばれ、全世界で公演されています。クリスマスイブのパーティを舞台とし、美しい旋律に乗せて、可憐なバレリーナたちが幻想的な世界を生み出します。全曲で約1時間25分にもなりますが、今回はオーケストラの演奏でバレエダンサーが共演し、ダイジェストでお楽しみいただきます。

■校歌をオーケストラ伴奏で歌おう！（4分）

* 校歌をオーケストラバージョンにして児童・生徒と共演。

■なんでも、質問コーナー（5分）

* 児童・生徒から指揮者・ソリスト・オーケストラメンバー・バレエダンサーに感想や質問にお答えします。

■ヨハン・シュトラウスⅠ世:ラデツキー行進曲（4分）

* オーケストラと共に、児童・生徒が手拍子で参加、共演。

ヨハン・シュトラウスⅡ世の父・ヨハン・シュトラウスⅠ世(1804-1849)の作品です。オーストリア帝国の軍人・ラデツキーの勝利を祝って作られました。いまでも毎年正月に行われるウィーン・フィルハーモニー管弦楽団によるニューイヤーコンサートで、かならず最後に演奏されるのが恒例となっています。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

事前のワークショップから本公演へと段階を追って、参加・体験をしていただく取り組みとしています。

ワークショップでの金管楽器、本公演では様々な楽器の揃うオーケストラの仕組みを習い、全体像が分かったところで、その奏者たちを動かす「指揮者」の体験をしていただきます。(合唱希望の場合は事前に曲を選択いただき、ご連絡をお願いします)

ヴァイオリニストの奥村愛がトークを担当し、要所で分かりやすく曲目解説などを行い、スムーズな進行をいたします。

後半のプログラムの「バレエ解説」ではマイムを学び、児童・生徒に実際に表現をしていただき、そのあとの「くるみ割り人形」でオーケストラと共演するダンサーの表現を理解していただきます。

「校歌」はオーケストラ演奏による合唱をいたします。ワークショップでも本公演に向けての合唱を行います。

体育館では、子どもと同じ目線にステージを設営するほか、「くるみ割り人形」ではダンサーはステージ上で演技をします(基本)。見やすく、聴きやすいように配慮いたします。

児童生徒とのふれあい

本事業では「創造力」「表現」をテーマにした構成にしています。

創造性を育み、表現力を養えるプログラムです。「難しい」と思われがちなクラシック音楽は、実は生活する上で身近に存在し、これからの人生をより豊かにするためには、欠かすことのできない一部であると感じてもらえるきっかけになればと思います。

ワークショップから本公演へと、段階的なプログラムとし、音楽を通じて子どもたちの健全な育成を願うとともに、音楽やバレエへの興味を持っていただける内容です。

ワークショップと本公演での質問コーナー、指揮者体験、校歌をアレンジしてのオーケストラとの共演と、参加コーナーを随所に取り入れ、演奏する側、聴く側、参加と一体感を生み出していきたいと思っています。

演奏や体験などの触れ合いを通じ、オーケストラの生演奏でクラシックなど音楽を聴くことの素晴らしさをお伝えしたいと考えています。